



第41期

# ビジネスレポート

平成24年4月1日～平成25年3月31日

 **ワイエイシー株式会社**

東証1部 証券コード:6298





株主の皆様へ 2

財務ハイライト 過去3年間の業績推移(連結) 3

事業フィールド 4~6

トピックス 7

営業状況 8

連結財務諸表 9

ネットワーク 10

会社概要 11

株主メモ 裏表紙



代表取締役社長  
百瀬 武文

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに『第41期ビジネスレポート』をお届けいたします。

当期(2012年4月1日から2013年3月31日まで)の連結業績は、国内外の景気低迷により設備投資が減退する厳しい状況でしたが、当社グループでは成長基調にあるアジア地域を中心に、経営資源を集中し、顧客のニーズをとらえた付加価値の高い装置の開発、販売に努め、前年度に比べ増収増益となりました。売上高150億48百万円(前年同期比21.6%増)、営業利益3億81百万円(同110.2%増)、経常利益3億11百万円(同

107.2%増)、当期純利益1億94百万円(同43.5%減)となりました。

当期の期末配当金は1株につき10円とし、中間配当金の10円とあわせて、年間計20円とさせていただきます。

当社グループは、売上規模1,000億円の優良企業を目標に、積極的な事業領域の拡大と、競争力の強化に努めております。この目標達成に向け、『3大作戦』をキーワードに、売上の拡大を狙いとした「受注大作戦」、利益体質強化のための「新依命大作戦」、ミス撲滅のための「3Eゼロ大作戦」を展開し、社員全員参加の会社経営を進めております。

また、当社は本年5月11日に創立40周年を無事迎えることができました。これもひとえに、株主様をはじめとするステークホルダーの皆様方のご支援の賜物と厚く御礼申し上げます。

これを記念して、拙著「全員参加の会社が成功する」を出版させていただきました。当社の経営の歴史と、今後の経営の在り方をまとめさせていただきましたので、ここに紹介させていただきます。

これからも引き続きご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



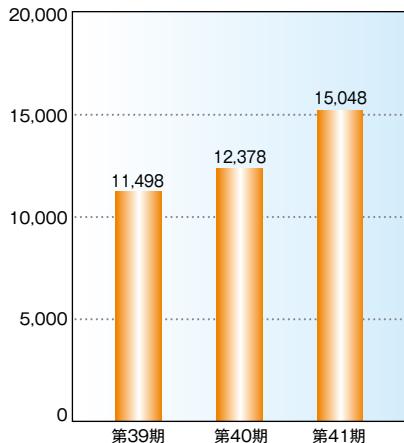
株式会社 幻冬舎 ルネッサンス  
ISBN978-4-7790-6079-3

平成25年6月

## 財務ハイライト 過去3年間の業績推移(連結)

### 売上高

(単位:百万円)



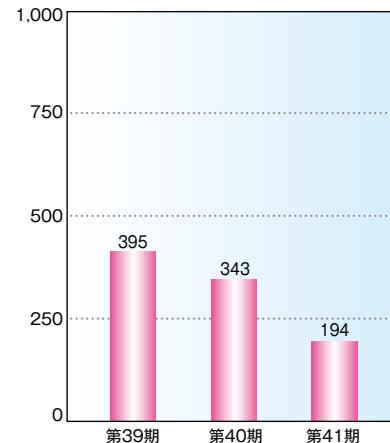
### 経常利益

(単位:百万円)



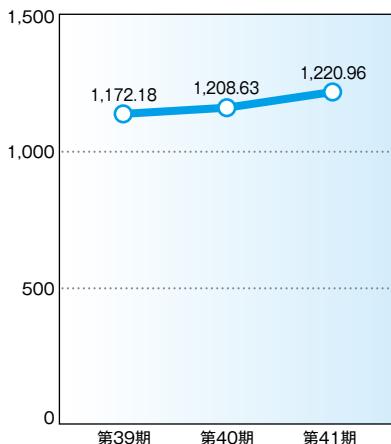
### 当期純利益

(単位:百万円)



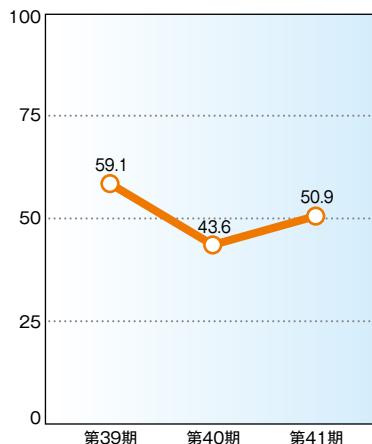
### 1株当たり純資産額

(単位:円)



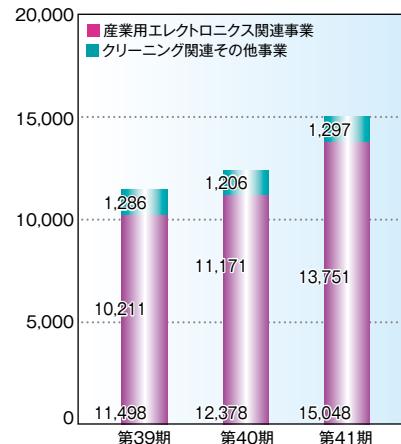
### 自己資本比率

(単位:%)



### セグメント別売上高

(単位:百万円)



(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## ハードディスク関連製品(ハードディスクメディア工程)

### バーニッシュ装置

ハードディスクの製造工程において、ディスクに磁性体を生成後、表面のナノオーダーの微小突起を除去する精密研磨装置



### UVキュア装置

基盤上の磁性膜面に潤滑剤(紫外線(UV)の波長に適合した潤滑剤が完成)を薄くなじませる装置



### クリーンコンベア

モジュールの組み合わせで自由な搬送ライン設計が可能なローラー式コンベアは、AGV(自走型搬送ロボット)やOHT(天井架設型搬送装置)に比べ、搬送物をいつでも搬送ラインに投入することができ、搬送効率が高い



## 太陽電池関連製品

### 高変換効率製造プロセスを追求

地球温暖化対策、さらには東日本大震災に伴う原発問題から、太陽電池の需要は急拡大し、これに伴う装置の引合いも増加しております。このような状況下、当社は、ウエットエッチングや洗浄装置を軸

に生産性の高い製造装置を提供することにより、国内はもとより、韓国、台湾、中国、マレーシア等のアジア地域における営業基盤の拡大を図っております。



### “e-wet”:テクスチャリング装置

光を取り入れて電気エネルギーに変換する太陽電池にとって、できるだけ光を漏らさずに取り入れることが最も重要です。当事業部の主力製品は、シリコン

ウェーハを材料とする“セル”の製造プロセス装置です。エネルギー変換効率の高い単結晶シリコン太陽電池では、非常に高精度の表面加工が求められます。そこで、シリコンウェーハ表面を薬液による化学加工(エッチング)する装置の開発に力を注ぎ、1ラインあたり年間60MWという生産能力を実現できる製造装置を市場投入しました。今後は、更なる変換効率向上、低生産コストの装置の開発を進めてまいります。



### “e-line”:PSG/ISO装置

## 液晶関連製品 (液晶パネル製造アレイ工程)

### 高密度プラズマ・ドライ・エッチング装置 (GAEAシリーズ)



Plasma技術を用いた、ドライエッチング装置は、LTPS、OLEDといった、スマートフォン向けの高精細加工をはじめとして、製造プロセスの効率化や省マスク技術、大型化などに最適なプラズマエッチング装置です。

### アニール装置 (RTAタイプ・YHRシリーズ)

YHRシリーズは今後のLTPSスマートフォンをターゲットとした高精細パネル製造に欠かせないRTA装置です。LTPS高精細パネルの量産に適した装置性能を保持しておりスマートフォンの更なる高性能化に寄与しております。ガラス基板の特性を熟知したYACならではのノウハウを随所に盛り込んでおります。



### アニール装置 (YHAシリーズ)



YHAシリーズは今後のIGZOパネルプロセスのKeyとなるバッチタイプの熱処理装置です。量産性と高品質な熱処理とを兼ね備えておりG6サイズまでの基板に対応しております。お客様のご要望もあり、G8サイズの装置の開発を進めています。

## 半導体関連製品

### ICテストハンドラー

ICのパッケージング後の検査工程で、テスターと接続して使用し、テスターからのテスト結果信号に基づき、ICを良品と不良品に自動選別する装置。必要に応じて、精度の高い高温・低温(-55°C~155°C)下でのテストも行います。

#### A/H343

4個同時測定、常・高温タイプ、低振動、低発塵



#### C912

低・常・高温測定が可能なマルチタイプ、開発用に最適

#### A/H543

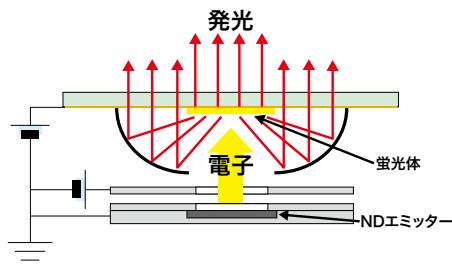
4個同時測定、常・高温タイプ、高速型



## FEL(平面発光ランプ)用薄膜

### FELとは? Field Emission Lamp

FEL (Field Emission Lamp: 平面発光ランプ)は、省エネルギー・省資源・脱有害物質(水銀・鉛レス)の特徴を持った地球環境にやさしい次世代照明として期待されているものであります。



発光写真



試作品



試作品

当社は、製造装置の製造・販売を主に行ってまいりましたが、この事業により初めて素材産業に参入することになります。

現在、関連会社である株式会社NDマテリアルと共同して平面型電子エミッターの事業化を進めております。さらに、ランプメーカーと提携し、エミッターを組み込んだランプ(FEL)の開発及び試作を推進しております。

### 特徴

- ①従来の蛍光灯と異なり、水銀・鉛などの有害物質を使用しない。
- ②LED(発光ダイオード)と比較して、
  - ・発熱量が少ない。
  - ・面発光である。
- ③色選択、合成の自由度が高い。

## クリーニング関連製品

### ワイシャツ仕上機

ポディスリーブプレス機



YPS-301E TYPE2

シャツの身ごろと袖を仕上げます。

ストレッチカラーカフスプレス機



YPS-622E

襟(伸ばしながら)とカフスを仕上げます。

### 全自動包装機



YBH-001A

ハンガーにかけたまま包装する立体タイプ。

### 人体型仕上機



YJK-014A

ジャケットやコートを仕上げます。

## 新たにグループ会社となったYAC国際電熱株式会社のご紹介

### YAC国際電熱株式会社

ワイエイシイが2013年3月25日に国際電熱工業の株式を取得しYAC国際電熱工業としてスタートいたしました。

国際電熱工業は1977年9月の会社設立以来ユーザーの要望を受け、電熱式加熱機器の設計、製造、販売を手がけてまいりました。現主力製品の金型予熱機の原型は1984年に開発されました。当時、金型予熱の重要性が認識されはじめており、電熱方式でも幾多の試みがありました。ヒーターの消耗による短寿命を克服できませんでした。

国際電熱工業はこの欠点を克服する「ダイヒーター」の開発に成功し、加熱能力の高さと抜群の耐久性が評価され、発売以来今日まで数多くのユーザーにご愛用頂いております。

今後、YAC国際電熱はダイヒーターで培った技術開発力を核に、さまざまな分野で熱処関連の事業領域の拡大を図ってまいります。

### 遠赤外線型金型予熱装置

- ◎塗型材が均一に加熱できます。
- ◎金型表面の肌荒れがありません。
- ◎塗型材のライフタイムはガス加熱の2倍以上
- ◎タイマー自動運転により昇温完了時間の設定が可能です。
- ◎金型サイズ、処理量に合わせた設計製作が可能です。
- ◎鋳鍛造業界に数多くの納入実績があります。



### ダイヒーター

- ◎両面発熱の面状ヒーターなので、左右又は上下に開いた金型の間に置いて使用します。
- ◎必要に応じ片面の強度を調節して製作できます。
- ◎雌雄両型のキャビティーのみを加熱できます。
- ◎ユーザーの使用状況に合わせて設計製作できます。
- ◎強度の選択や制御機能の組み込みが自由にできます。



商号	YAC国際電熱株式会社
設立	昭和52年9月
代表者	代表取締役 風間健太郎
所在地	〒208-0035 東京都武蔵村山市中原1-6-7
電話番号	042-531-5394
FAX番号	042-531-5395
事業内容	加熱機器・装置の設計製作販売
資本金	2,000万円
主要取引先	トヨタ自動車・本田技研 日産自動車・ダイハツ デンソー・東亜レジン 他

## ■事業概況

当連結会計年度の世界経済は、米国においては個人消費や民間設備投資の伸びにより、緩やかな回復傾向を維持してきましたが、欧州では政府債務問題が長期化し、景気の低迷が続いております。一方、中国や新興国においては欧州向け輸出の不振や金融引き締め等の影響により経済成長が鈍化しております。

日本経済は、海外経済の減速に伴い弱含みで推移しましたが、政府の経済政策や日銀の金融緩和強化への期待感から企業の景況感が改善に向かい、持ち直しの兆しを見せております。

このような国内外の景気低迷により設備投資が減退する厳しい状況のなか、当社グループにおきましては、成長基調にあるアジア地域を中心に、経営資源を集中し、顧客のニーズをとらえた付加価値の高い装置の開発と販売により、収益の増大に努めてまいりました。

この結果、当連結会計年度の業績は売上高150億48百万円(前連結会計年度比21.6%増)、営業利益3億81百万円(同110.2%増)、経常利益3億11百万円(同107.2%増)、当期純利益1億94百万円(同43.5%減)となりました。

## 【セグメント別の状況】

### 産業用エレクトロニクス関連事業

ハードディスク関連装置分野では、PCからウルトラブック・タブレット端末等への移行によりHDD需要が停滞する厳しい状況にありましたが、大口のパーニッシュ装置の買い替え需要やUVキュア装置・搬送装置等の販売に努め、業績は堅調に推移しました。

半導体関連装置分野では、当初は自動車・家電等に係る半導体需要により順調でしたが、設備の充足感により投資が先送りとなり、業績は低調に推移しました。

液晶関連装置分野では、スマートフォンやタブレット端末のパネル膜質改善を図るアニール装置の拡販により、業績は堅調に推移しました。

加熱処理装置分野では、自動車関係の設備投資が一部先送りとなりましたが、スマートフォン・タブレット端末向け装置が伸長し、業績は順調に推移しました。

太陽電池関連装置分野では、再生可能エネルギーとして期待されましたが、欧州におけるパネル需要の減退や過剰在庫によるパネル価格の下落により、設備投資が抑制され、業績は低調に推移しました。

これらの結果、産業用エレクトロニクス関連事業の売上高は137億51百万円(前連結会計年度比23.1%増)、セグメント利益は6億78百万円(同32.6%増)となりました。

## ■クリーニング関連その他事業

クリーニング関連その他事業については、クリーニング需要が減少し、業界全体の収縮傾向が進行するなか、国内外の営業拠点の強化を図り、業績は順調に推移しました。

これらの結果、クリーニング関連その他事業の売上高は12億97百万円(同7.5%増)、セグメント利益は1億89百万円(同31.9%増)となりました。

## ■対処すべき課題

当社グループは、環境にやさしい機械をテーマに事業に取り組み、製品の省エネ化や付加価値の高い製品の開発に努め、時代のニーズに適応した製品群を拡充し、高成長、高収益企業グループへの飛躍を図ってまいります。

具体的には以下の課題に対処してまいります。

### ① 研究開発の拡充

多様化する顧客ニーズに応えるため事業部間の連帯を強化し、製造装置分野での品揃えの拡大を図る研究開発を継続しております。液晶分野では高密度なエッチング装置やアニール装置の開発、ハードディスク分野では大容量対応のパーニッシュ装置やレーザースクライバー装置の開発、そして平面発光ランプの製品化や太陽電池製造装置等の低環境負荷製品の開発に積極的に取り組んでまいります。

### ② 事業領域の拡大

シンガポール、中国(上海)、そして韓国の現地法人及び台湾支店の連携強化を図り、今後一層の経済成長が見込まれるアジア地域を中心にグローバル化を推進してまいります。一方、M&Aや業務提携により取扱製品を拡充し、業界の好不況に左右されにくい企業体質を目指して事業領域の拡大を図ってまいります。

### ③ 生産体制の再構築

多様化する顧客ニーズに対応するために、国内外の協力会社と連携し、フレキシブルな生産体制の構築を図ってまいります。

### ④ 財務体質の強化

財務体質の強化のため、キャッシュ・フローの増大と自己資本の増加に努め、より収益性の高い安定した事業経営と規模の拡大に努めてまいります。

## 連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	当期	前期
	平成25年3月31日現在	平成24年3月31日現在
<b>【資産の部】</b>		
流動資産	16,878	20,264
現金及び預金	8,041	8,733
受取手形及び売掛金	3,740	4,335
有価証券	854	—
たな卸資産	3,943	6,592
その他	299	601
有形固定資産	3,873	3,876
無形固定資産	133	126
投資その他の資産	493	468
<b>資産合計</b>	<b>21,379</b>	<b>24,735</b>
<b>【負債の部】</b>		
流動負債	6,776	10,015
支払手形及び買掛金	4,769	5,607
短期借入金	1,168	1,259
その他	838	3,147
固定負債	3,554	3,781
社債	1,000	1,106
長期借入金	1,741	1,900
その他	812	774
<b>負債合計</b>	<b>10,331</b>	<b>13,796</b>
<b>【純資産の部】</b>		
株主資本	10,996	10,980
その他の包括利益累計額	△106	△200
少数株主持分	157	158
<b>純資産合計</b>	<b>11,047</b>	<b>10,938</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>21,379</b>	<b>24,735</b>

(注)金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

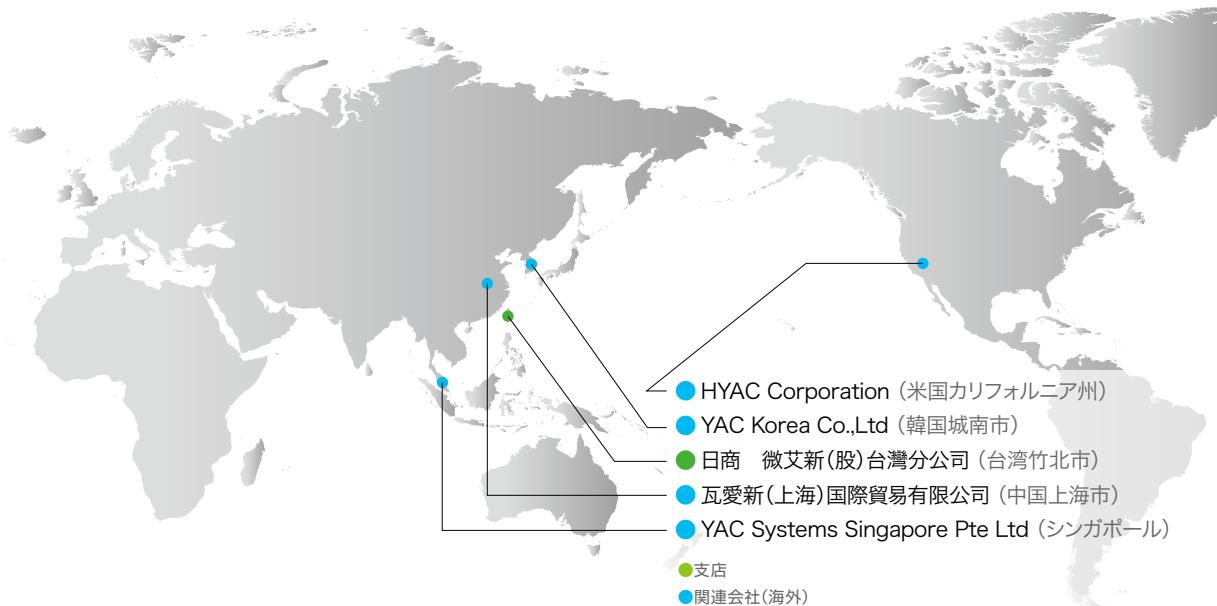
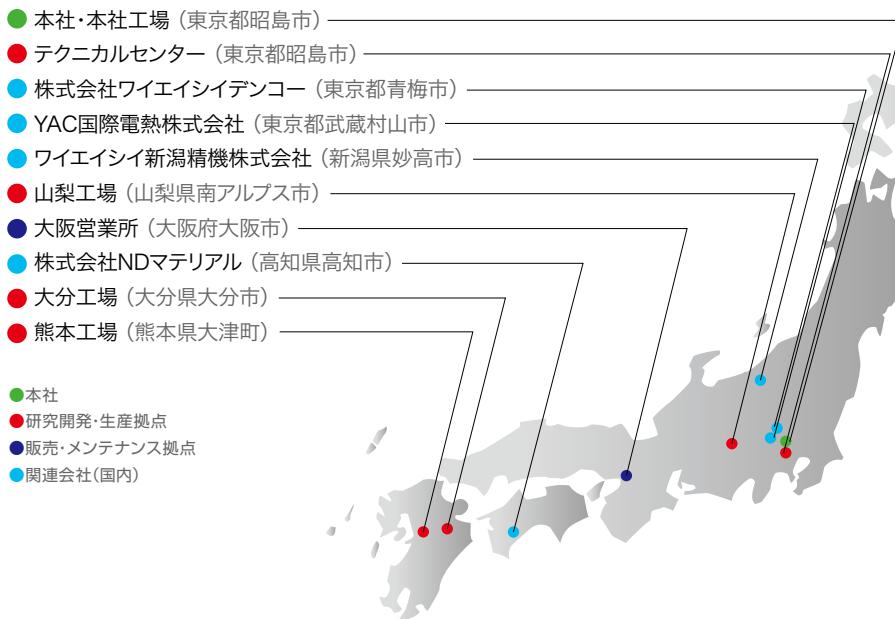
科目	当期	前期
	平成24年4月1日～ 平成25年3月31日	平成23年4月1日～ 平成24年3月31日
売上高	15,048	12,378
売上原価	12,452	9,878
販売費及び一般管理費	2,214	2,318
<b>営業利益</b>	<b>381</b>	<b>181</b>
営業外収益	33	38
営業外費用	103	69
<b>経常利益</b>	<b>311</b>	<b>150</b>
特別利益	0	255
特別損失	6	67
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>304</b>	<b>337</b>
<b>少数株主損益調整前当期純利益</b>	<b>195</b>	<b>426</b>
<b>当期純利益</b>	<b>194</b>	<b>343</b>

## 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当期	前期
	平成24年4月1日～ 平成25年3月31日	平成23年4月1日～ 平成24年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	631	1,760
投資活動によるキャッシュ・フロー	△107	245
財務活動によるキャッシュ・フロー	△602	131
現金及び現金同等物に係る換算差額	202	△19
現金及び現金同等物の増減額	123	2,117
現金及び現金同等物の期首残高	8,637	6,520
現金及び現金同等物の期末残高	8,761	8,637

(平成25年3月31日現在)



## 会社概要 (平成25年6月27日現在)

商号 ワイエイシー株式会社  
 英文表示 Y.A.C.CO.,LTD.  
 本社 東京都昭島市武蔵野三丁目11番10号  
 設立 昭和48年5月11日  
 資本金 2,756百万円  
 従業員数 193名(出向社員・契約社員等の臨時雇用者含まず)  
 事業内容 次にあげる自動機械の設計・製造・販売ならびに装置開発を行っております。

### ●産業用エレクトロニクス関連事業

液晶用プラズマドライエッチング装置/ICハンドラー/  
 精密熱処理炉/ハードディスク用バーニッシュ装置/  
 クリーン搬送システム/液晶用アニール装置/  
 平面発光ランプエミッター/太陽電池製造装置

### ●クリーニング関連その他事業

自動包装機/シャツ用・ウール用プレス機/  
 全自動立体分配システム

## 役員・執行役員 (平成25年6月27日現在)

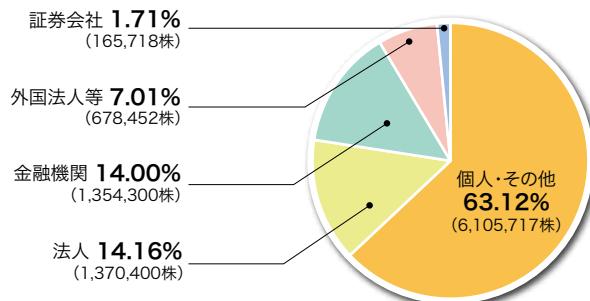
代表取締役社長	百瀬 武文
常務取締役	佐藤 康男
常務取締役執行役員	伊藤 利彦
常務取締役	宮本 忠泰
取締役執行役員	和田 貢
取締役執行役員	大福 芳弘
取締役執行役員	副島 幸雄
常勤監査役	東田 明
監査役	勝間田 武司*
監査役	石田 祥二*
執行役員	西原 宗久
執行役員	曾根田 栄悦
執行役員	寺本 和政
執行役員	野口 武史
執行役員	村野 恒利

\*社外監査役

## 株式の状況 (平成25年3月31日現在)

会社が発行する株式の総数	34,388,000株	
発行済株式の総数	9,674,587株	
当期末現在の株主数	5,064名	
個人・その他(注1)	4,904名	6,105,717株
法人	40名	1,370,400株
金融機関	28名	1,354,300株
証券会社	38名	165,718株
外国法人等	54名	678,452株

## 所有株式数分布状況 (平成25年3月31日現在)



(合計 9,674,587株)

## 大株主 (上位10名) (平成25年3月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%) <sup>(注2)</sup>
株式会社モトタケ	1,220	13.67
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	374	4.19
ピー・エフ・フォー・フィアティ・ロー・プライズ・ストック・ファンド・イン・パブリック・オプニング・サポーターズ・リミテッド	300	3.36
百瀬 武文	280	3.14
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	176	1.98
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	80	0.90
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口1)	80	0.89
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口6)	69	0.77
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口3)	65	0.72
東京海上日動火災保険株式会社	61	0.69

※当社は、自己株式を755,317株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。  
 (注1)従業員・自社名義株式を含みます。(注2)持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

## 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-7111 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL <a href="http://www.yac.co.jp/">http://www.yac.co.jp/</a> (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

### (ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



〒196-0021 東京都昭島市武蔵野3-11-10  
TEL (042) 546-1161 (代表) FAX (042) 546-1107  
URL <http://www.yac.co.jp>